

「ポケモンGO」の配信に伴う天保山公園周辺の状況等

港 区 役 所

状況

- ・ ゲームアプリ「ポケモンGO」が7月22日に配信されて以降、天保山公園周辺は珍しいポケモンがたくさん出現する全国有数のスポットとしてきわめて多くのプレイヤーが来訪しています。
- ・ 配信開始から3か月近くになる現在も時間帯によっては雑踏状態となるほど、週末を中心に大勢の来訪者で賑わっています。

課題

多くの人を訪れ長時間滞留することで、近隣住民の生活に大きな影響が生じています。



- ・ 大量のごみの放置
- ・ たばこの吸殻のポイ捨て
- ・ マンション等の私有地への侵入
- ・ 深夜に及ぶ違法駐車や騒音 など

対策

- ・ 区役所が呼びかけて、海遊館、八幡屋公園事務所、港警察署など関係11団体で「ポケモンGO対策会議」を開催し、**「削除申請は選択肢ではあるが、このエリアの集客をめざしている立場からは、当面施設管理者がそれぞれの立場で管理の強化とマナー啓発を続けること、引き続き関係者で情報の共有を図っていくこと」を確認しました。**(9月2日、15日)
- ・ 駐車対策は警察に徹底した取締りを要請しています。
- ・ 区役所としては「ごみ」対策に重点を置き、プレイヤーの自主的なマナー向上を促進し、地域との「共存」をめざしたいと考え、次のような取組を行っています。

- ・ 区役所と大阪市コミュニティ協会職員ボランティアが、「天保山“ポイ捨てNO大作戦”」としてマナーの向上を呼びかけながら清掃活動を実施。

(9月25日から毎週日曜日午後3時～)

- ・ 天保山公園南西に隣接する水上消防署に「クリーンステーション」(ごみ袋、トングなどを貸出)を設置し、プレイヤーの清掃ボランティアを促進。(10月7日～)
- ・ 天保山公園内及び周辺に、公園事務所、港警察署、区役所連名の**注意・警告看板**を設置 (8月23日～)
- ・ ポケモンGOとSNSの親和性が非常に高いので、ツイッターを中心に、以上のような行政の取組などの情報を積極的に発信し、プレイヤーに自主的なマナー向上を促している。

平成 28 年 10 月 31 日





